

2018年4月4日

各 位

会社名 株式会社東京個別指導学院
代表者の 代表取締役社長 齋藤 勝己
役職・氏名 (コード番号 4745・東証第一部)
問合せ先責任者
執行役員 阿 川 靖
TEL 03-6911-3216

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「株式会社東京個別指導学院 コーポレートガバナンス基本方針」(※)における取締役会の実効性評価に基づいて、取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要について下記のとおり、公表いたします。

記

1. 分析・評価の方法

取締役及び監査役計9名に対して無記名の自己評価アンケートを実施し、取締役会の構成、取締役会の運営、社外役員に対する情報提供等の各評価項目について5段階評価とともに自由意見欄を設けて自己評価を実施しました。

自己評価アンケートの集計結果につき、社外取締役2名、社外監査役2名にて構成される独立社外役員会にて報告書を取り纏め、当社取締役会において、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しました。

2. 分析・評価結果

(1) 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、以下の観点から、取締役会の実効性が確保できていると評価しました。

- ① 取締役会の構成(人数等の規模、社外取締役の割合、知識・経験・能力のバランス等)は、適切に確保されている。
- ② 社外役員を含むすべての取締役・監査役がその多様な経験、専門性に基づいて自由闊達で建設的な議論がされている。

(2) 分析・評価結果から抽出された課題

当社取締役会の実効性を更に高めるために取り組むべき課題として、以下の課題を抽出しました。昨期から新たに取り入れた重要議案における「審議事項」は、取締役会において十分な検討ができる等の高評価を得ている。これを踏まえ、今期においては、「審議事項」として取扱う議案の選定及び議案の性質による審議時間を調整し、重要議案についてより深く検討できるように、引き続き運営・検証していくものとする。

3. 今後の対応

当社は、上記の分析・評価を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を目指し、抽出された課題の改善に努めてまいります。

また、評価の方法、プロセスの改善を検討し、ガバナンス体制の更なる強化を図ってまいります。

以上

(※)株式会社東京個別指導学院 コーポレートガバナンス基本方針

URL:<https://www.tkg-jp.com/about/governance.html>